

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公開番号】特開 2020-31918 (P2020-31918A)

【公開日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-009

【出願番号】特願 2018-161608 (P2018-161608)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 5

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 19 日 (2021.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のスイッチと、

第 2 のスイッチと、

表示装置と、

を備え、

遊技待機中に第 1 のスイッチが押下された場合は、メニュー画像を表示装置に表示可能とし、

第 2 のスイッチの押下を促す画像が所定のタイミングで表示される所定の遊技において、所定のタイミングとなって、第 2 のスイッチの押下を促す画像が表示されているときに第 2 のスイッチが押下された場合は、所定の画像を表示装置に表示可能とし、

遊技中に第 1 のスイッチが押下され、当該押下が継続して行われている状況下で遊技が終了して遊技待機中へ移行した場合は、当該遊技待機中において第 1 のスイッチが未だに押下され続けていてもメニュー画像が表示装置に表示されず、

第 2 のスイッチの押下を促す画像が所定のタイミングで表示される所定の遊技において、所定のタイミングとなって、その後、第 2 のスイッチの押下を促す画像が表示されているときに第 2 のスイッチが押下されて所定の画像が表示装置に表示され、当該押下が継続して行われている状況下で第 1 のスイッチが押下された場合はメニュー画像が表示装置に表示されずに所定の画像が表示装置に表示されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上述した課題を解決するために、本発明は、

第 1 のスイッチと、

第 2 のスイッチと、

表示装置と、

を備え、

遊技待機中に第１のスイッチが押下された場合は、メニュー画像を表示装置に表示可能とし、

第２のスイッチの押下を促す画像が所定のタイミングで表示される所定の遊技において、所定のタイミングとなって、第２のスイッチの押下を促す画像が表示されているときに第２のスイッチが押下された場合は、所定の画像を表示装置に表示可能とし、

遊技中に第１のスイッチが押下され、当該押下が継続して行われている状況下で遊技が終了して遊技待機中へ移行した場合は、当該遊技待機中において第１のスイッチが未だに押下され続けていてもメニュー画像が表示装置に表示されず、

第２のスイッチの押下を促す画像が所定のタイミングで表示される所定の遊技において、所定のタイミングとなって、その後、第２のスイッチの押下を促す画像が表示されているときに第２のスイッチが押下されて所定の画像が表示装置に表示され、当該押下が継続して行われている状況下で第１のスイッチが押下された場合はメニュー画像が表示装置に表示されずに所定の画像が表示装置に表示されている

ことを特徴とする。